

生徒が日常的に新聞に親しむための取り組み

宮崎学園中学校

教諭 上 杉 詩 織

1 はじめに

本校は、宮崎市の中心部に位置する併設型の中高一貫校である。建学の精神である「礼節・勤労」のもと、自と他をともに尊重し、どのような困難に対しても誠実に責任をもって取り組むことのできる生徒の育成に取り組んでいる。

本校は2020年度より新しくNIE実践指定校となった。実践を通して、読解力や表現力を身につけさせるとともに、活動の中で生まれる友人や教員、家族との関わりによってコミュニケーション能力の向上を図る。また複数の新聞を比較することで、真実を見抜く力や情報を取捨選択しながら正しく読む力を養っていきたいと考える。実践の初年度である本年度は、まず新聞を身近なものとして捉え、日常的に新聞に親しむことを目標に活動に取り組んだ。

なお、全学年、全学級（1～3年・各3学級）で継続して実践を行うため、各紙4ヶ月の新聞提供期間を終えた後も学校で独自に新聞を購読し、年間を通して実践を行った。

2 本年度の取り組み

(1) 「NIEコーナー」の設置

①目的

これまで、図書室で整理・保管していた新聞を、教室の前の「NIEコーナー」に置くことで、日常的に新聞に親しめる環境をつくる。

②取り組み方法

- ・各学級の係の生徒が輪番制で、毎朝、新聞（宮崎日日新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞）をコーナーに設置し、生徒が自由に新聞を手にとれるようにする。
- ・前日の新聞は専用のラックに掛け、それ以前のものも一定期間保管をする。



NIEコーナー

③取り組みの実際

学級の約半数の家庭が新聞を定期購読しておらず、定期購読している家庭であっても日常的に新聞を読んでいる生徒は少ない。そのような状況を踏まえ、生徒たちがいつでも新聞に触れられるコーナーをつくり、「新聞が身近にある」という環境を整備した。

教室のすぐ近くにコーナーを設置したことで、教室移動の際や休み時間などの短い時間に気軽に新聞を手にとって読んでいる生徒が増えた。宮日こども新聞や先輩生徒が作成した新聞等も一緒に掲示し、コーナーを充実させた。

(2) 「新聞スクラップ活動」の実施【1～3年 全学級対象】

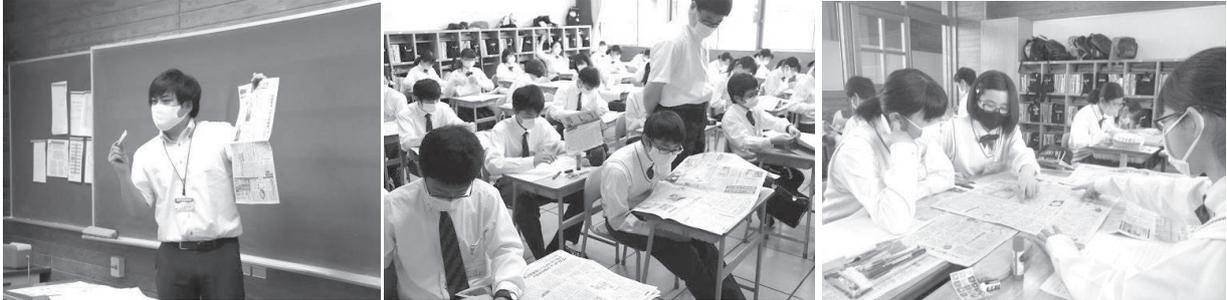
①目的

新聞の中から気になる記事を切り抜かせてワークシートにまとめることで、要約する力を身につけさせるとともに、自分の考えをわかりやすく伝えるための表現力を磨かせる。また、本校全体で学んでいる、SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の17の達成目標と記事の内容との関連を考えさせることで、身近な話題から、世界に関わる問題へと意識を広げさせていく。

②取り組み方法

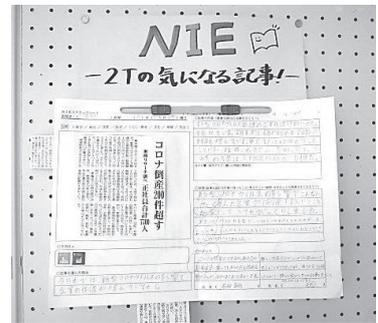
実践開始にあたり、1～3年生全学級で新聞活用のオリエンテーションを行った。(5月)

- ・新聞の特徴や、読み方の確認
- ・新聞スクラップ活動の内容、活動の流れの説明
- ・ワークシートを使用したスクラップの実践



その後、各学級で以下のように実践を開始した。

- 毎朝、係生徒が各学級に新聞を一部持って行く。
(月ごとに新聞を指定)
- 担当者(学級ごとに毎日1～2名を設定)が新聞の中から気になる記事を選ぶ。
- ワークシートに選んだ記事を貼り、以下の内容を記入する。
 - ・記事を選んだ理由
 - ・記事の内容の要約
 - ・記事内の重要語、難語の意味
 - ・記事に対する感想や考え
 - ・記事の内容がSDGsの達成目標との関連を通して考察
(17の目標の中で、関連する項目のシールをワークシートに貼る)
- ワークシートにまとめた内容を帰りの会で発表する。
- 記事について、クラスメイト1名と担当が担当者の考え等も踏まえた上で感想を記入する。
- 完成したワークシートは各学級で掲示し、古い物もファイリングして学級に置くことで、いつでも見られるようにする。



NIEスクラップシート 新聞名: () 新聞 ()月()日()頁	
記事の内容(重要な部分には線をひこう!)	
分類 (総合 / 政治 / 経済 / 国際 / 社会 / 文化 / 地域 / 環境) 台風10号による土砂災害で多くの死者が確認されている。 自治体も懸命な捜索活動が続いた。 復旧作業は引き続き進められ、被害も拡大している。 停電や断水が続く中、ボランティア活動が盛んに行われている。	◎感想(記事を読んで印象に残ったこと・考えたこと・疑問・SDGsとも関連させてみよう!)
◎記事を選んだ理由 台風10号で、被災地がひどく荒れたから、被災者の命を助けることに興味がある。	◎記事を選んだ理由 被災地がひどく荒れたから、被災者の命を助けることに興味がある。
OSDD: 17の目標のうち、SDGs 11 (持続可能な都市とコミュニティ) と関連している。	OSDD: 17の目標のうち、SDGs 11 (持続可能な都市とコミュニティ) と関連している。
氏名 () 氏名 ()	氏名 () 氏名 ()

NIEスクラップシート 新聞名: () 新聞 ()月()日()頁	
記事の内容(重要な部分には線をひこう!)	
分類 (総合 / 政治 / 経済 / 国際 / 社会 / 文化 / 地域 / 環境) 政府は18日、通常国会で早期成立をめざすコロナ対策特別法を提出し、特別措置法や感染法などの改正案を提出した。 緊急事態宣言が延長されたことで、労働時間短縮の命令が出た。 一方で、感染防止のため、外出自粛が求められている。	◎感想(記事を読んで印象に残ったこと・考えたこと・疑問・SDGsとも関連させてみよう!)
◎記事を選んだ理由 政府が特別措置法を提出したことで、感染対策が強化されることを期待している。	◎記事を選んだ理由 政府が特別措置法を提出したことで、感染対策が強化されることを期待している。
OSDD: 17の目標のうち、SDGs 3 (持続可能な開発目標) と関連している。	OSDD: 17の目標のうち、SDGs 3 (持続可能な開発目標) と関連している。
氏名 () 氏名 ()	氏名 () 氏名 ()

【学級に配付する新聞の割り当て表】

実践開始から4ヶ月は導入期とし、1年生には読みやすく、身近な話題を多く扱っている「宮崎日日新聞」のみを割り当て、2・3年生には「宮日・朝日・読売・日経・毎日」の各新聞をランダムに割り当てた。実践に慣れてきた10月以降には全ての学年で「宮日・朝日・読売」の各新聞を順番に割り当てた。

導入期（5～9月）

	5月	6月	7月	9月	10月 ・11月	12月	1月	2月	3月
1S	宮日	宮日	宮日	宮日	朝日	読売	宮日	朝日	読売
1T	宮日	宮日	宮日	宮日	読売	宮日	朝日	読売	宮日
1U	宮日	宮日	宮日	宮日	宮日	朝日	読売	宮日	朝日
2S	朝日	読売	宮日	日経	朝日	読売	宮日	朝日	読売
2T	宮日	毎日	読売	朝日	読売	宮日	朝日	読売	宮日
2U	毎日	宮日	日経	宮日	宮日	朝日	読売	宮日	朝日
3S	日経	宮日	朝日	読売	朝日	読売	宮日	朝日	読売
3T	宮日	日経	毎日	宮日	読売	宮日	朝日	読売	宮日
3U	読売	朝日	宮日	毎日	宮日	朝日	読売	宮日	朝日

③取り組みの実際

- ・5月の実践開始から3月の終業式まで、全ての学級で継続して取り組むことができた。
- ・新聞記事のジャンルは特に指定せず、生徒自身が興味をもった記事を自由に選ばせることで、新聞を隅々まで読む習慣につながっていた。
- ・普段、家庭で購読している新聞とは違う新聞に触れることで、記事の共通点や相違点に気づくことができていた。
- ・実践当初は慣れない取り組みに戸惑う姿も見られたが、活動を継続していくうち、自然に新聞を手取る様子へと変わってきた。
- ・記事についての意見をまとめるために難しい語を調べたり、友人や教員と意見を交換しながら内容についてじっくり読み深めたりする中で、考えをより深めることができた生徒が多く見られた。
- ・SDGsとの関連を考えることで、地域の身近な話題が世界の問題へとつながっていたり、遠く離れた国で起きていると思っていたことが実は自分たちにも深く関わっていたり・・・と、様々な視点で新聞記事を読むことができていた。



【生徒の感想】

- 新聞を読んで初めて知ることも多くあり、スクラップをした後も「もっと知りたい」とその内容について調べることが増えた。
- 新聞記事の中で分からない言葉を調べながら読むことで、語彙が増えたように感じる。
- ニュースで見たことを新聞の記事で読んでみると、じっくり読むことができるし、友人と感想を話す中で考えが深まっていったと思う。
- 先生が授業で話していたことに関する記事を新聞で見つけて嬉しかった。それをスクラップして何度も読んだことで、内容についてより詳しく知ることができた。
- ある事件について、テレビでニュースを見たときは誰かが誰かを傷つけた「1つの事件」としか思わなかったけど、新聞で読んでみるとどちらかが一方的に悪いのではないのではないかとか、その背景にある人種差別の問題などにも気づくことができた。
- 2人で話し合いながらスクラップをしていると、同じ記事に対する感想なのに違っていたり、重視する部分が違っていたりして驚いた。

3 成果と課題

【実践の成果】

- 新聞が身近にある環境の中で過ごすことで、生徒たちは日常的に新聞に触れる機会を多く得ることができ、宮崎県だけでなく国内外の出来事を知る情報源の1つとなっていた。
- 日頃から時事問題に関心を深め、生徒同士の日常会話の中でもニュースの内容について話をしている声が聞こえてきた。
- 今年度は、新型コロナウイルスが全国的、世界的に急速に拡大したということもあり、感染症対策、緊急事態宣言情報、ワクチン接種状況等タイムリーな情報も生徒が主体的に新聞を通して入手できていた。
- 世の中の出来事について正しく「知る」だけで終わるのではなく、それに対して自分の考えをもち、さらに友人と意見を交わすことで考えが深まっていた。
- 新聞記事を要約したり、記事に対する自分の意見を文にしたりすることで、読解力・表現力が少しずつ身についてきているように感じた。
- 生徒の記入したワークシートを教員が読む中で、どのようなことに興味関心があるのか、どのような考え方をしているのかなど、生徒理解にも役立てることができた。

【今後の課題】

- 本年が取り組みの初年度であったため、先を見通した計画的な取り組みは十分にできなかった。
- 各学級での取り組みに終わってしまった。次年度は各教科とも連携し、教科横断的な取り組みなど、実践の幅を広げていけるようにしたい。
- 生徒自身の活動で終わるのではなく、生徒同士、または生徒と教員というような相互の活動、意見交換などをより活発に行っていきたい。
- 高校とも情報を共有し、中高一貫校の特色をいかせるような実践を模索していきたい。
- 生徒が自分と社会の接点に気づき、それを具体的な行動へと結びつけていけるような取り組みを工夫したい。

